

日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

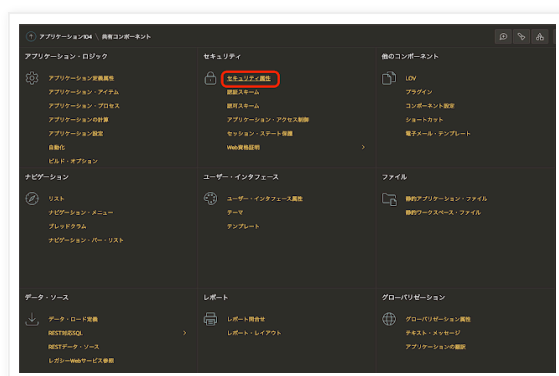
2020年12月11日 金曜日

アプリケーションに固定したタイムゾーンの設定

Oracle APEXのアプリケーションへタイムゾーンを設定する方法について、以前に[こちらの記事](#)を書いています。以前の記事では、利用者側のタイムゾーンをどのようにOracle APEXのアプリケーションに反映させるか、という方法について説明しています。そうではなく、単にアプリケーションが指定したタイムゾーン、例えば、日本時間で動いてくれれば良い、という場合もあるでしょう。

アメリカでも中国でも、どこからのアクセスでも日本時間で動いてくれたら良いのだけど、サーバーはアメリカにあって、サーバー側のタイムゾーンは変えられない、といった場合にできることを紹介します。

アプリケーションの共有コンポーネントから、**セキュリティ属性**を開きます。

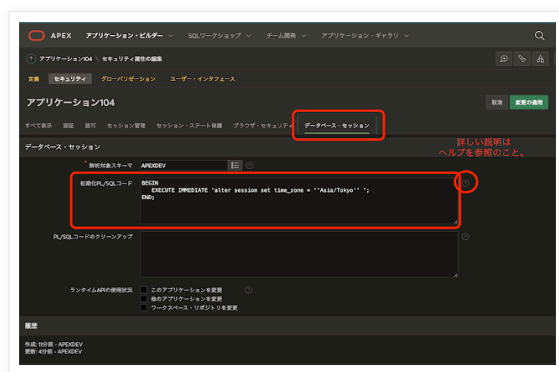


データベース・セッションのセクションの**初期化PL/SQLコード**に、タイムゾーンを設定するALTER文を記載します。

BEGIN

```
EXECUTE IMMEDIATE 'alter session set time_zone = "Asia/Tokyo" ';
```

END;



変更の適用をクリックすると、設定したアプリケーションのセッション・タイムゾーンが日本時間になります。

自動タイムゾーンの設定では、ブラウザ上でJavaScriptを動かして取得した時差を、CGIのパラメータtzにセットしてアプリケーションに返すといった、一手間というか一往復のリクエストが追加で発生します。画面左上にSet Time Zoneと表示されている間に行われている作業です。

タイムゾーンを固定するだけであれば、上記のように設定することで、その作業を除くことができます。

完

Yuji N. 時刻: 19:28

共有

◀

ホーム

▶

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.
